

一つずつ積み上げて 実現していくオンライン授業

教育家庭新聞オンラインセミナー

那須町教育委員会学校教育課

プログラミング教育推進スーパーバイザー

マイクロソフト認定教育イノベーター2017-2020

Microsoft Global Minecraft Mentor

星野 尚



自己紹介

職業系高等学校講師 / 専門学校高等課程教諭

インターネットサービスプロバイダ エンジニア

国立研究開発法人 産業技術総合研究所 情報技術研究部門 / 技術移転ベンチャー企業

行政書士 / 那須塩原クリエイティブ・ラボ（民間プログラミング教室）代表

NPO法人CANVAS フェロー

Viscuitファシリテーター

学校法人西那須野学園西那須野幼稚園コンピュータあそび講師

那須町教育委員会学校教育課プログラミング教育推進スーパーバイザー

町全体でプログラミング

那須町の小学校パソコンクラブでボランティアプログラミング講師（きっかけ）

マイクロソフト・NPO法人CANVAS「[Programming for ALL](#)」プロジェクト

[プログラミングデイ in 那須町](#)

プログラミング学習実証校での授業実践と公開授業（プログラミング教員養成塾）

全町立保育園プログラミングあそび

町立図書館定期プログラミングワークショップ開催

[那須歴史探訪館 ICT化プロジェクト](#)（マインクラフト文化財再現・VRアーカイブプロジェクト等）

町内公民館シニア層向けプログラミングワークショップ・大人プログラミング寺子屋開催

文科省

かつてない強いメッセージ

今は前代未聞の非常時・緊急時なのに危機感ない。

**ICT、オンライン学習は学びの保障に大いに役立つ
のに取り組もうとしない。**

使えるものは何でも使って、

家庭のパソコン、家族のスマホ

できることから、できる人から、

「一律にやる」必要はない

既存のルールにとらわれず臨機応変に、

「ルールを守ること」は目的ではない

何でも取り組んでみる。

現場の教職員の取り組みをつぶさない

今

学校の非常時・緊急時なのに危機感ない。

ICTの学びの保障に大いに役立つのに取り組もうとしない。

この非常時にさえっ、えっ、
なぜ？
ICTを使わないの
フマホ

できることから、

既存のルールにとらわれず

「ルールを守る」

何でも取り組んでみる。

現場の教職員の取り組みをつな

説明責任の変化

I C T を活用しない

自治体に説明責任が発生

最初に結論

**デジタルかアナログか
オンラインかオフラインか
ではなく
両輪で対応**

**「何もしない」が
格差拡大**

今できることを1つずつ
試行錯誤サイクルを回して
前に進んでいきましょう

**前例は全国的に増えています
マネしましょう**

できない理由ではなく
どうしたらできるようになるかを
みんなで考えましょう

**現場の先生たちを
信じて任せましょう**

**登校再開しても
取り組みは止めない**

本題

那須町の教育インフラ

L T E の i P a d が 学 び の イ ン フ ラ

学 校 適 正 配 置

G I G A ス ク ー ル 構 想 以 前 に

1 人 1 台 へ の 動 き を 発 表

(2 0 1 9 年 か ら) 3 年 後 の 整 備 完 了 目 指 し て

【2019年度】クラウド導入開始

2018年度 Office365 for Education

2019年度 G Suite for Education

→デュアルクラウドサービス導入試験運用開始

2019年11月教職員研修会実施 (G Suite)

【2019年度】クラウド導入開始

まなびポケットト一部試験導入運用開始

→ 1人1台環境を見据えた検証開始

対象：プログラミング教育実証校6学年

クラウド導入による変化

宿題の在り方含め

学びのリデザイン必須

ピンチは突然訪れます

最優先で考えたこと

1. コミュニケーション確保
2. 効率性重視
3. 必要性重視

1.コミュニケーション確保

- 子どもたちとの関わり
- 子どもたち同士の関わり
- 子どもたちの心のケア
- 生活リズムのケア

※学ぶことの基盤「安心」をつくる

2. 効率性重視

- 教職員負担軽減
- 時間捻出
- 研修時間等確保

※先生たちの「安心」をつくる

※オンライン授業デザインを進める

3. 必要性重視

- 教職員がすぐに使いたいもの
- コミュニケーション確保と密接に関係

※ 必要性が高いものはすぐに使う

ピンチはチャンス
休校で生まれた時間を活用

【3月】マナトメプログラム申し込み

3月初頭

- ・ Zoom
- ・ まなびポケット

新型コロナウイルス感染症による学校休業対策

#学びを止めない未来の教室

【3月】組織内情報共有ポータルサイト公開



1月制作スタート

健康観察Webフォームテンプレート
各種サポート情報
臨時休校関連情報発信
等

管理職の理解を深める

【3月】校長会Zoomオンライン会議体験会

臨時休校対応臨時校長会

Zoomオンライン会議体験

現場は優先度 + 体験を重視

2020年1月
教職員1人1台iPad整備済

【3月】緊急ICT研修会

町内全小中学校教職員向けに実施

→実施決定から半日で資料作成→翌日開始

Webフォーム・共同編集・情報共有

Zoom使用方法や活用場面検討会

それぞれの実践を尊重

【3月】各学校の動き

オンライン職員会議演習

ミニミニ現職教育の開催

Webフォーム健康観察開始

まなびポケット試用開始

即实践

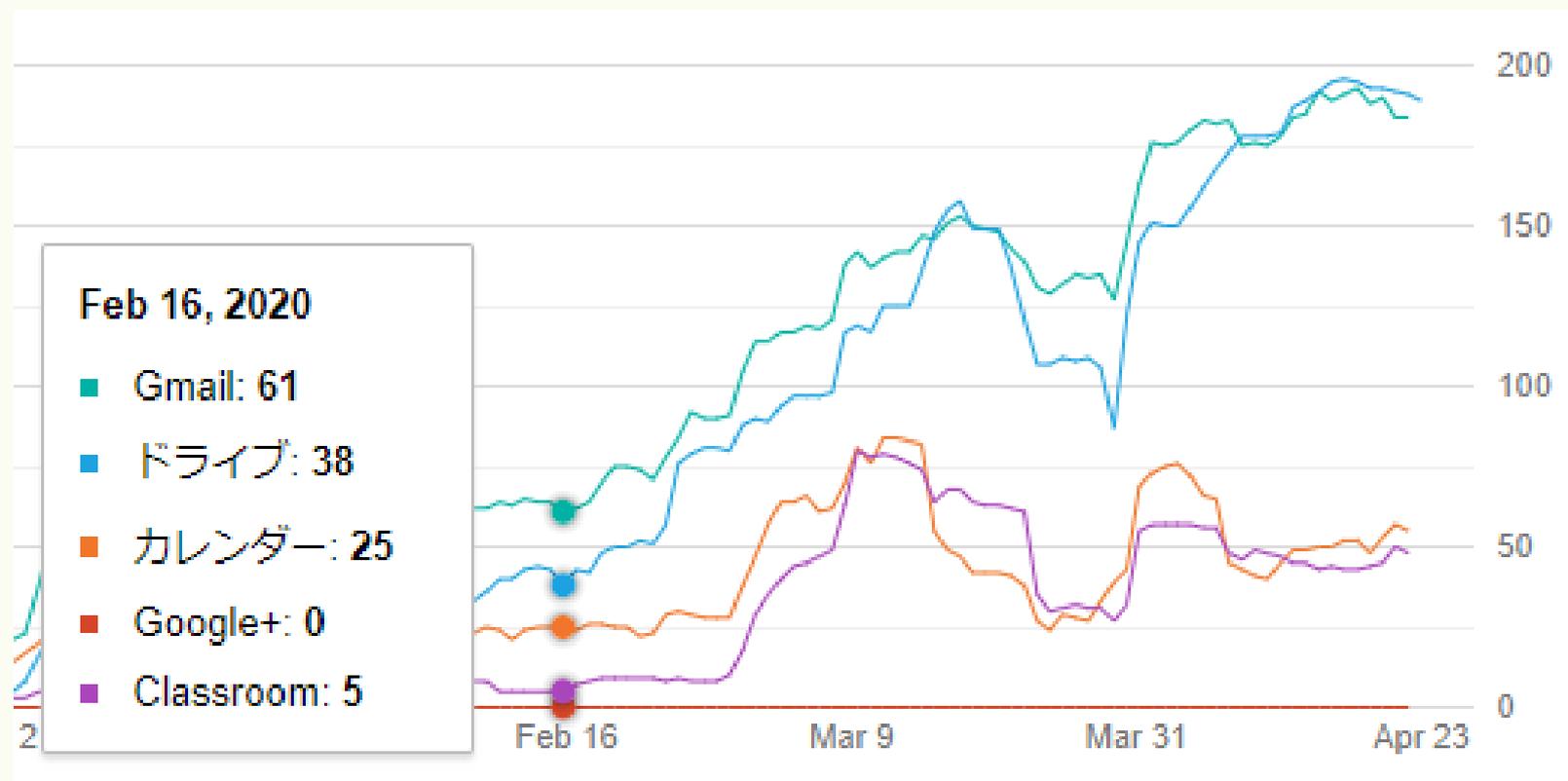
【4月】オンライン年度はじめ

トップが率先して活用

[4/2 5:00 下野新聞Webサイトリンク](#)



効果



現場の情報発信（事例）

中学校

オンライン「朝の会」@那須中央中学校

ネット上で「朝の会」臨時休校で 那須（20-04-14）



- とちぎテレビ
- 下野新聞
- NHKとちぎ630

那須中央中の事例

3月のオンラインドリル学習の時点で希望者にLTE i P a d貸出実施

4月に家庭ネット接続詳細状況把握とi P a d貸出希望調査

→各家庭保有端末へのZoomアプリインストール対応

那須中央中全校生徒オンライン「朝の会」実施環境整備

4月13日オンライン「朝の会」スタート（月～金）

 平行してオンライン学習で非同期・双方向性環境構築と教職員自主研修準備

自走する先生たちの姿（那須中央中の事例）

スクールタクト自主研修会開催

臨時休校中のオンライン学習計画作成

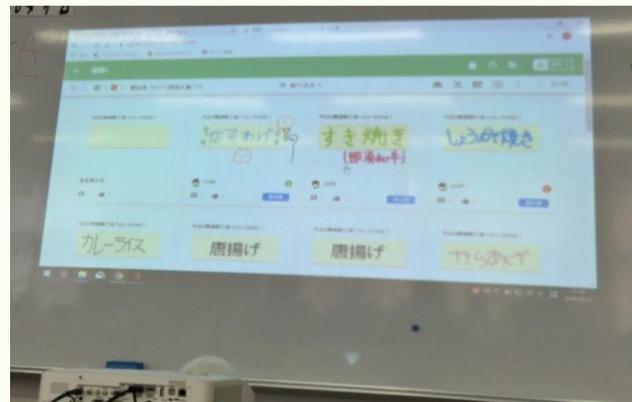
使用方法オン・オフラインマニュアル作成

実践事例発表で情報共有（動画も作成）

学習解説動画制作開始（一部）

オンライン個別学習相談開始

登校再開でもICT活用方針を継続



現場の情報発信（事例） 小学校全校

6 学年から児童用 i P a d (L T E) 活用

町内全小学校 6 学年対象

児童用 i P a d (L T E) 貸与

ロイロノート・スクール活用

現場の情報発信 小学校詳細事例

自走する先生たちの姿（東陽小学校の事例）

全学年児童の家庭通信状況調査

自宅端末・ネットワークで対応可能

自走する先生たちの姿（東陽小学校の事例）

ロイロノートWeb版

スクールタクト試験導入

【4学年】

全員でのスクールタクト取り組み開始

自走する先生たちの姿（田代友愛小学校の事例）

教頭先生・ICTに詳しい先生によるミニ研修

→G Suite、Microsoft365、まなびポケット

スクールタクト、Meet、Teams、その他

オンライン打ち合わせ・議事録同時編集

継続的改善

現状に満足せず次の一手を考え続ける

走りながら修正を繰り返す

町内教職員のつながり

町内小学校オンライン学年会

Zoomブレイクアウトセッション

1 学年～ 6 学年・特別支援

7 セッション

Zoom割当画面

課題共有

実践共有

教材情報共有

ブレイクアウトセッション- 開始していません

▼ 1 学年	割り当て
▼ 2 学年	割り当て
▼ 3 学年	割り当て
▼ 4 学年	割り当て
▼ 5 学年	割り当て
▼ 6 学年	割り当て
▼ 特別支援	割り当て
▼ 予備	割り当て

再作成 ▼ オプション ▼ セッションの追加 すべてのセッション

オンライン授業デザイン

オンライン授業とは

リアルタイム型（従来型授業と同一）

自己学習型（プリント爆弾）

オンデマンド型（Youtube等動画配信）

従来型授業のオンライン化ではない

型にはめるのではなく

新しい授業デザインを考える

**現場を支える
教育委員会のマインド**

意思決定の重要性

教育委員会は学校現場の活動を

支え後押しする存在

→さまざまな取り組みを認めて支援

緊急時と平時

平時の判断は通用しない

「一律に出来ないから実施しない」

→平時にしか通用しない

平時であっても疑問が残る

どうしてもつながらない

一部の子どもだけ学校でオンライン

→ 3密にならない

「セキユリティ」について

聞こえてくる悲鳴

「セキュリティポリシー違反だからNG」

聞こえてくる悲鳴

「セキュリティポリシー違反だからNG」

→見直し条項が必ずある

→当該条項を根拠に進める

→ルールを守ることが目的ではない

見直しは必須

2019年12月文部科学省

情報セキュリティポリシーガイドライン

→見直し条項発動の根拠

トップの判断を促す説明

「セキュリティ」という言葉で思考停止しない
何がリスクでどう使えば安全に運用可能なのか
100%の安全は無いという大前提

トップの判断を促す説明

トライアル&エラーを高速に回す判断

代替策の提示

100%の安全はない

現実社会で犯罪や自動車事故が
ゼロにならないのと同じ
回避策も含めて安全に使う方法を検討

文部科学大臣がZoom使ってます

[NHKニュースサイトリンク](#)

「Zoomのセキュリティが・・・」

とこれでも言い続けますか？

6月から最新版にしないと接続不可



パソコン室・教職員PCのInternet Explorer

セキュリティを重視するなら

こちらの対策の方が重要



できるところから1つずつ積み上げる

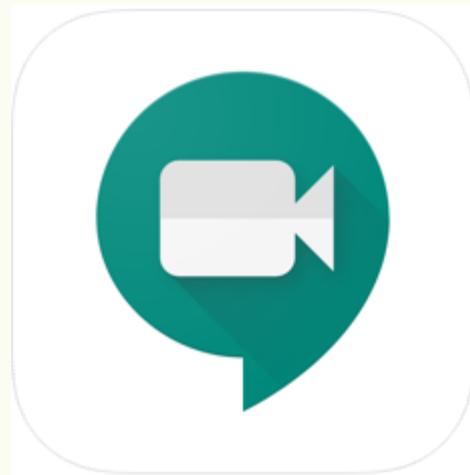
すべてが同じようにできているわけではない

できることから着手して実践して情報共有

できるところから1つずつ積み上げる

チャットで気軽に相談したいことを投稿

→資料にまとめて共有



アンテナを張って行動する

モバイルルーター—無償貸出

→支援獲得のための行動

まとめ

**デジタルかアナログか
オンラインかオフラインか
ではなく
両輪で対応**

**「何もしない」が
格差拡大**

今できることを1つずつ
試行錯誤サイクルを回して
前に進んでいきましょう

**前例は全国的に増えています
マネしましょう**

できない理由ではなく
どうしたらできるようになるかを
みんなで考えましょう

**現場の先生たちを
信じて任せましょう**

**登校再開しても
取り組みは止めない**